

## 新計画の将来像等の検討にあたって

## 山元町震災復興計画 復興の将来像「キラリやまもと！みんなの希望と笑顔が輝くまち」

基本理念1 災害に強く、安全・安心に暮らせるまちづくり／基本理念2 だれもが住みたくなるようなまちづくり／基本理念3 つながり大切に作るまちづくり

- |                                       |                                  |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1 生活 ～心豊かな町民生活を実現する笑顔あふれるまち～          | 5 防災・安全・安心 ～自助・共助による防災意識の高いまち～   |
| 2 産業 ～山元町ブランド産業を復興し、創造する活力あるまち～       | 6 都市整備 ～災害に強く人にやさしい利便的なまち～       |
| 3 保健・福祉 ～充実した医療・福祉体制に支えられるまち～         | 7 環境 ～環境に配慮し、自然エネルギーを活用したまち～     |
| 4 学校教育・生涯学習 ～家庭・地域・学校の協働のもとで夢と志を育むまち～ | 8 行財政運営 ～復旧復興を最優先に行政サービスを提供するまち～ |

## ①社会情勢

## 地方創生

急速な人口減少  
超高齢社会の到来

持続可能な開発目標(SDGs)  
の採択

「物の豊かさ」から  
「こころの豊かさ」へ

地域コミュニティの機能の低下

地方への移住を考える  
若者等の増加

IoT やビッグデータ、  
人口知能(AI)等の技術革新

インバウンド観光の拡大  
働き方改革・外国人雇用

高齢者向け医療・介護  
生活支援サービスの需要の高まり

地方自治体の行財政の悪化、  
自主財源の確保

空き家・空地の増加、インフラ維持・  
管理、災害への危険性への課題認識

## 山元町の現状

東日本大震災による  
大幅な人口減少、少子高齢化

過疎地域指定

2つのインターチェンジの供用、  
JR常磐線の運転再開

震災後の交流人口の増加

全国からの支援・つながり

沿岸部の農地大区画化

## ②復興計画における課題

地域の魅力を生かした定住人口確保

協働による子育て・高齢者支援の充実

教育の質の向上と学習環境の充実

防災力の維持や生活利便性の向上

環境に配慮したコンパクトな  
まちづくりの推進

産業や伝統文化・市民活動など  
まちづくりを支える後継者育成

各産業における人材確保対策

## ③まちづくりに対する町民意向調査一部抜粋(参考資料1)

## 【一般町民・若者】

町のイメージ(中学生との共通認識):「自然が豊か」「環境にやさしい」「安全で  
安心できるまち」「人と人との交流が盛んなまち」

居住継続意向:「今後も山元町に住み続けたい」が7割以上。若い世代の定住  
意向が低い(4割は「まだわからない」)。

満足度が低い項目:「公共交通の便利さ」「日常の買い物の便利さ」「空き家・  
空き地活用の推進」「雇用の場の確保」。

解決すべき課題:「働く環境」「生活環境の利便性」に関わる項目の解決が重要。

## 【中学生】

町のイメージ:「町がすき」「山元町に自慢できるものがある」「住みよいまち」

将来の意向:大人になったら働きたいところとして「山元町」を選んだ人は1割。

## ④町長のマニフェスト

「来て・見て・食べて・住んでよし」  
「交流・関係から定住へ、住むならやっぱり山元町」

- 子育て 婚活 定住支援の充実・強化
- 交流人口「100万人」を目指した交流拠点整備の推進
- 企業誘致 農業再生で雇用の場 所得向上を実現
- 教育 文化 スポーツの振興
- 町の発展をリードする拠点形成の推進
- 治水・排水対策 生活道路の維持補修の推進
- 心の復興 絆・コミュニティ再生の推進

## 本日の検討部分

## &lt;今後も継承すべき視点(例)&gt;

- キラリやまもと  
⇒喜びと笑顔に満ち溢れ、賑わいあるまち
- 安全・安心  
⇒防災にとどまらず、「減災」も視野に入れ、災害が発生しても  
速やかに復旧できるまち
- 人と人の「絆」  
⇒地域のコミュニティ・つながり、歴史や文化を大切にするまち
- 快適・魅力あふれる  
⇒人口減少も視野に入れながら利便性が高く、誇りを持てるまち

## &lt;新たに追加すべき視点(例)&gt;

- 創造的な復興のトップランナー  
⇒新しい創造的まちづくりのモデルとなるまち
- グローバル・世界水準 ⇒グローバルな取り組みを基準とするまち
- 交流・関係から定住へ  
⇒様々な人と人との交流による、住み続けたいと思うまち
- 多様な就業環境  
⇒企業誘致、創業支援など、就業環境の充実したまち
- 次世代の育成 ⇒子育てしやすくふるさとに対する「愛」と「誇り」、  
将来への「夢」を育むまち
- バランスのとれた地域振興 ⇒丘通り(山間部)の活性化
- 官民連携のまちづくり  
⇒町民・民間の活力を積極的にまちづくり活かすまち
- 心の豊かさの実感 ⇒健康で生涯にわたり活躍できるまち
- 持続可能なまちづくり ⇒行政経営の観点から効率的なまち